

TEMM20の成果

(今次会合の意義) 8年ぶりの日中韓サミット後初めての環境大臣会合。また、中国生態環境部の発足により気候変動対策等の協力促進を含む、環境分野での三カ国及び二国間協力の推進を改めて確認。

(今次会合の成果) 本会合では、三カ国協力について以下の成果

1. 過去20年における三カ国の環境協力について振り返り、三カ国の環境協力における最近の進展を確認。
2. 気候変動分野における脱炭素都市構築のための共同研究の開始を合意。
3. 2019年に開催されるG20首脳会合及び環境・エネルギー大臣会合に向け、海洋ごみ対策の強化も含め、連携・協力を確認。
4. ヒアリを含む外来種対策やマイクロプラスチックを含む海洋ごみ対策等について、率直な意見交換を実施。

※日中バイ会談において、「大気環境改善のための協力覚書」に両国環境大臣が署名。

「三カ国共同行動計画(2015～2019)」に基づく協力プロジェクトの進捗の確認

(共同行動計画に盛り込まれた優先9分野)

- ①大気環境改善
- ②生物多様性
- ③化学物質管理と環境に係る緊急時対応
- ④資源循環利用/3R/電気電子機器の越境移動
- ⑤気候変動対策
- ⑥水及び海洋環境保全
- ⑦環境教育、人々の意識向上及び企業の社会的責任
- ⑧地方環境管理
- ⑨グリーン経済への移行